



女性が輝く 京都企業

3

中西印刷

ダイナミックに変貌を遂げる印刷業界において 時代に先駆ける取り組みを支えた女性パワーの活用

かつて印刷業は男性を主とした世界であった。しかし、タイプライターが日本でも導入されると、繊細な技術を要するタイピストとして女性が活躍するようになった。中西印刷は、慶応元年創業の老舗ながら、そんな技術革新の波をいち早くとらえ、女性の登用に積極的に取り組むことで事業の発展を図ってきた。タイピストの採用にはじまり、編集、電算写植、DTP …と専門職としての女性活躍の場が広がっていったという。さらに学術書出版で培った信頼関係を基に、学術学会業務受託サービスを手がけるようになり、女性はますます重要な戦力となっていった。大橋千賀子さんは、現在、取締役総務部長として、活躍する女性の一人である。「先生方とのやりとりや煩雑な事務を、立場をわきまえ細心の気配りで遂行できる優秀な女性社員がどんどん増えていきました。そんな中から上がってくる要望に同性として耳を傾け、制度の整備にも尽力してくれた大橋部長の存在は大きかったと思います」と中西隆太郎社長も一目置く。

大橋さんは、現職への抜擢から21年を数える。英文タイピストとして入社し、タイプ部門の廃止後は総務部ひとすじ。「人を育てる風土がある会社です。私の他にも数名の女性管理職が誕生していますよ」とやわらかな表情で語る。

女性が結婚・出産を経ても働きやすい職場を目指し、育児休業規則が制定されたのは平成4年。ほかにも子育て支援制度として、保育休暇や、小学校3年生までの子供がいる社員を対象にした「短時間勤務従業員制度」など、20年以上前に、すでに現在とほぼ変わらない子育て支援の制度が整備されていた。一方では、モチベーションのある社員のキャリアアップも柔軟にサポートする。「育児休業をとった男性もいます」と語る中西社長に、「宿泊を伴う出張をこなす女性も」と大橋さんも言い添える。「男性だから」「女性だから」と構えることなく、仕事に誇りを持って働け、気負わず必要なサポートが受けられる好環境。大橋さんの包容力に満ちた笑顔は、そんな社風を象徴しているかのようだ。



取締役社長の中西隆太郎さん(左)、取締役総務部長の大橋千賀子さん



中西印刷株式会社

代表者／中西 隆太郎
住所／京都市上京区下立売通小川東入西大路町146
TEL / 075-441-3155
URL / <http://the.nacos.com/>
事業内容／学術誌の編集・印刷・出版、学会事務代行

従業員／81名(男性39名、女性42名)
管理職(役員含む) 20名(女性6名)